

平成二十七年 度 小論文試験

次の文章を読み、問いに答えなさい。

受験番号
氏 名

よい医師を見つけるには、いくつかの現実的な指針がある。もちろん、十分に医学の訓練を積み、最新の医学情報をよく知った医師を選びたいと思うのが当然だ。一流の医科大学を卒業した医師なら、基本的な知識に①セイツウし、治療できる病気かどうかの判断力にすぐれ、最も効果的な治療法もよくわきまえているはずだ。しかし、それだけでは充分ではない。有名な医師であつても患者を逆なでする者もいる。医師と患者は② が合わなければならない。患者は医師と会うと、親友といふときのように気が休まらなければならない。

患者が医師といふ落ちつけるかどうか、医師を③ソソグイできるようになるか、生死の問題について医師を信頼できるようになるかどうかを判断するキポイントがいくつかある。患者に会ったとき、医師が握手をするかしないか。このジェスチャーは、医師が患者に近づきたいと思つてゐることをあらわす、最初のちよつとしたしるしだ。握手をしないからといつて信頼できないとはいへないが、チェックリストの中でマイナス点になるだろう。

時間③ゲンシユは医師の人間性をはかる重要な要素である。時間を守ろうとする気持ちは、基本的に相手に対する敬意のあらわれだ。患者の時間を守るのは、癒しのパートナーシップを築くのに必要な重要な④シビヨウである。いつも遅れる医師は、管理能力がいかげんで、計画がずさん、予約の取りすぎ、他人の時間に不当に無関心だということである。また、医師にあらがちなことだが、はるかに重病の患者に手がとられて仕方がなかつたのだと患者に理解してもらえらうと④たかをくくつてゐる。いつも遅れる医師であつても、本当の緊急事態で遅れることなどめつたにしない。

(中略)

重要な点は、医師が患者の言うことに進んで耳を傾けることができるかどうかである。いくつかの研究の結果を見ると、医師はふつう十五秒から三〇秒ごとに患者の言葉に口をはさんでゐる。それは、医師が短気か、時間に迫られているか、医師が患者の思いに無関心であることを示している。イエス、ノーで答えられる質問形式ばかりではなく、じっくり聞くという姿勢は、患者が今何を心配しているかを理解しようとする気持ちのあらわれだ。患者が言つたことを⑤医師がもう一度繰り返したり要約したりすれば、その医師はよく訓練されたよい聞き手である。

また、患者の職業など主要な社会活動について質問し、ちよつとした悲しいできごとを気の毒に思い、重大な問題には心から同情をして、問診をていねいに行う医師は、患者との信頼をはぐくむことができる。他にも大勢の患者が待つてゐるのは患者にはよくわかつてゐるはずだが、医師はまた、目の前の患者のためにすべての時間を使つてもよいという姿勢を示すことが大事だ。

患者に会つたとたんに、「なぜこのようになるまで放つておいたのですか」とか「もつと早く来ていただきましたか」などと言つて患者を責める医師も⑤ケイカイするべきだ。そのような医師に癒しの才があるかどうか疑わしいと思つてもさしつかえない。

(バーナード・ラウン著 小泉直子訳『医師はなぜ治せないのか』より)

問一 本文中の①から⑤の傍線のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 ①に当てはまる言葉として最も適切なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- A 表現 B 流儀 C 帳尻 D 相性 E 収支

問三 ④のたかをくくつてゐるの意味について25字以内で書きなさい。

問四 ⑤の医師がもう一度繰り返したり要約したりすることは、問診(医療面接)において、どのような効果や利点があるのか、50字以内で書きなさい。

問五 良好な患者・医師関係を築くには、医師にはどのような姿勢や能力が必要でしょうか。著者の考えを踏まえて、自分の考えを350字以上400字以内でまとめなさい。

